

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660020	__ 001
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	GIFUナイトビュー事業実行委員会	
開始・終了年度	平成	13	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業の実施により、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域経済の活性化に寄与する					
内容 (手段・手法など)	岐阜城パノラマ夜景(岐阜城)					
事業の 対象	何を	イベント				
	誰に	市民・観光客				
	どのくらい	計70日間程度				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	975	30	969	30	954	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	975	30	969	30	954	30

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		1,904	2,600	2,630
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	1,904	2,600	2,630
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		1,904	2,600	2,630

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	2,879	3,569	3,584

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	2,879	3,569	3,584

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民、観光客	市民、観光客	市民、観光客
受益者数	2,861	1,837	7,681
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,006	1,943	467

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	イベント開催数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	70	70	70	
実績値	16	33	73	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	イベント参加者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	20,000	20,000	12,000	
実績値	2,861	1,837	7,681	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	岐阜城パノラマ夜景は平成13年から開始し、コロナ禍前は例年1万人以上が来場する岐阜市の夜の観光スポットとして定着している。 市の新たな観光資源の創出、岐阜城なども含めた観光資源への観光客誘致を目的としており、観光関係団体と共に、市も事業費を負担すべき。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜城パノラマ夜景は、岐阜城及び金華山ロープウェイの協力のもと実施しており、実行委員会においてはチラシ作成や広告費用のみ負担している。 現在も実行委員会形式で実施しており、観光関連事業者や地元自治会の協力を得ながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	岐阜城パノラマ夜景は、各メディアに毎年紹介されるなど岐阜市のイベントとして定着しており、例年一定数の観光客が訪れている。 毎年、来場促進イベントやノベルティグッズの検討を行い、夜景への誘客効果を高める工夫を行っている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	岐阜城パノラマ夜景の開催期間において、ロープウェイは運賃、岐阜城は入館料を徴収しており、受益者負担の面で公平性は確保できている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜城パノラマ夜景は、山上に岐阜城を有する岐阜市ならではのイベントであり、また集客実績のあるナイトタイムコンテンツとして今後も継続していくべきと考える。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660020	__ 002
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	GIFUナイトビュー事業(灯り物語)				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	GIFUナイトビュー事業実行委員会
開始・終了年度	令和 2 年度～	年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本市の貴重な観光資源である金華山・長良川を活用した事業を実施することにより、全国から幅広く観光客の誘致を図り、地域の活性化に寄与する。				
内容 (手段・手法など)	ぎふ灯り物語の開催				
事業の 対象	何を	ぎふ灯り物語の開催			
	誰に	市民・観光客			
	どのくらい	1回			
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	新しい展示コンテンツの取入れ、入場料金の変更など				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,275	70	2,261	70	2,226	70
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	2,275	70	2,261	70	2,226	70

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		20,000	12,467	12,000
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	20,000	12,467	12,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		20,000	12,467	12,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	22,275	14,728	14,226

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	20,000	10,000	6,000
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	3,407
計(F)	20,000	10,000	9,407

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,275	4,728	4,819

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市民・観光客	市民・観光客	市民・観光客
受益者数	6,504	4,284	9,134
受益者負担額(千円)	0	1,767	5,482
受益者負担率(%)	0.0%	12.0%	38.5%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	350	1,104	528

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	イベント開催数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	イベント参加者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	6,000	6,000	10,000	10,000
実績値	6,504	4,284	9,134	9,134
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	鵜飼のオフシーズンにおける魅力的なナイトタイムエコノミーの創出を図ることを目的に、伝統的工芸品を活用した「岐阜市ならではの」の灯りイベントを実施することで、岐阜市への誘客促進に繋げる。 市の新たな観光資源の創出や観光客誘致を目的としており、観光関係団体と共に、市も事業費を負担すべきである。 鵜飼のオフシーズンにおける魅力的なナイトタイムエコノミーの創出を図ることが目的であり、類似事業は存在しない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	観光業界の閑散期である冬の時期に、9日間で1万人に近い集客があり、効率的である。 実行委員会形式で実施しており、観光関連事業者や地元自治会の協力を得ながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	岐阜和傘・岐阜提灯といった国の伝統的工芸品を活用したライトアップイベントは本市でしか実施できないという強みがあり、本市への誘客促進に有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	令和3年度に導入した受益者負担の実績や反響などを基に、令和4年度は入場料を増額するなど適正な負担について検討を継続している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	拡充	鵜飼閉幕期間中に楽しめる、本市ならではのイベントとして入場者数も増加していることから、継続すべきと考える。 持続可能な実施方法については、引き続き検討を重ねていく。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 003

【1.基本情報】

事業名	信長公居城連携協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	信長公居城連携協議会	
開始・終了年度	平成	22	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	戦国武将「織田信長公」が居城した岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市の4市が連携し、広域観光の路を確立するとともに信長公の居城をキーワードとした共同PRによる観光客誘致を行い、観光振興を図る。					
内容 (手段・手法など)	本市への観光客誘致宣伝活動					
事業の 対象	何を	岐阜市をはじめとする四市の観光資源				
	誰に	観光客となりうるすべての人々				
	どのくらい	スタンプラリーの実施(年間)				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	岡崎公園における「どうする家康 岡崎 大河ドラマ館」周辺での観光ブース出展					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,250	100	3,230	100	3,180	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,250	100	3,230	100	3,180	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		394	399	356
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	394	399	356
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		394	399	356

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,644	3,629	3,536

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	3,644	3,629	3,536

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市	岐阜市、近江八幡市、小牧市、清須市
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	スタンプラリー参加者		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	400	400	700	
実績値	668	1,078	1,163	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	岐阜市観光HPアクセス数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	120,000	120,000	120,000	
実績値	312,440	368,229	538,151	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	歴史的な共通テーマを持った誘客事業は、昨今、観光客の関心も高く、効果的な誘客を図るのに必要である。 450プロジェクト後の岐阜市を「信長公命名のまち岐阜市」としてブランド発信していくうえで、居城連携の枠組みは必要である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	総事業費がそれほど大きくないため、少ない予算でいかに大きな効果を生むことができるかが課題。また、岐阜市(40万円)と他3市(20万円)とで負担金額が異なる点も検討が必要。 居城というテーマに合った関係4市が広域連携を組み、効率的な事業を実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	岐阜市単独の誘客活動では得られなかった、広域的な誘客を図ることができた。また「にっぽん城まつり2023」に共同出展を行い、お城ファンの方々々にターゲットを絞った効果的なPRを行うことができた。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	低	4市を訪れた観光客は、入場料など、それぞれの施設で受益者負担を担っている。一方で、3市の負担金割合の面では負担金額に差があり、検討の必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	テーマ性を持った広域連携による誘客施策は効果的であり、事業は継続すべき。令和2年度よりマンネリ化し、参加者が減少していたスタンプラリーを、御城印ラリーに変更することによって、参加者数が大幅に増加した。今後も情報発信の方法や、事業のブラッシュアップと認知度向上を図っていく。また、各市の負担金額について検討する必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 004

【1.基本情報】

事業名	笑いと感動のまちづくり事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	岐阜市笑いと感動のまちづくり実行委員会
開始・終了年度	平成 15 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	落語の祖・安楽庵策伝ゆかりの岐阜市を拠り所に、日本一元気な県都・岐阜市の実現を目指す。「笑いと感動」を切り口として、まちづくりの観点から、町の活性化や人の健康、及び地域への愛情や誇りを育むことを目的として、本事業を推進する。				
内容 (手段・手法など)	①全日本学生落語選手権「策伝大賞」 ②有料落語会 ③落語出前授業 ④親子教室イベント ⑤共催事業 等				
事業の 対象	何を	①全日本学生落語選手権「策伝大賞」 ②有料落語会 ③落語出前授業 ④親子教室イベント ⑤共催事業 等			
	誰に	①落語関係者約150人、観客約1,000人(コロナ禍のため入場者数を制限) ②観客約1,200人 ③市内小学6年生約150人 ④市内小学生等約70人 ⑤観客等160名			
	どのくらい	①選手権開催(2日間) ②有料落語会開催(1日間) ③落語出前講座(年3回) ④親子教室イベント(年2回) ⑤共催事業(年3回)			
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	4,225	130	4,199	130	4,134	130
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	4,225	130	4,199	130	4,134	130

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		12,970	12,824	12,981
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	12,970	12,824	12,981
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		12,970	12,824	12,981

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	17,195	17,023	17,115

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	17,195	17,023	17,115

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	策伝大賞参加学生、観覧者	策伝大賞参加学生、観覧者	策伝大賞参加学生、観覧者
受益者数	487	583	1,216
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	35,308	29,199	14,075

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	策伝大賞予選会の出場者数			単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	80			100	150
実績値	72			106	144

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	策伝大賞予選会、決勝大会の観覧者数			単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	300			400	1,000
実績値	415			477	1,072
達成状況	○(達成)	○(達成)			○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	策伝大賞決勝大会観覧者アンケートの結果から、事業に対する感想として「良い」とされる意見が9割ほどあり、自由記述を見ても継続を望む市民は多く、ニーズに合っている。 イベント自体が市のPRに直結しているとともに、事業の拠り所である安楽庵策伝の所縁は岐阜市にあり、市で行うべき。 全国的にみて少ないアマチュア学生落語大会の中でこの規模で数十年続いている大会は他にはなく、全国の落語プレーヤーからみて唯一無二の存在となっている。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	桂文枝師匠、立川志の輔師匠の知名度を考えると、本事業の予算内で実施できることは落語を通じた縁があってこそであり、費用対効果は高い。 落語愛好者や落語に理解のある団体、落語にゆかりのある市内団体と連携することで、効率的に事業を実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	笑い感動を切り口として続けられてきた事業として、着実に認知度は高まっている。ここ3年は、予選会を無観客、決勝大会の観覧者数制限した場合でも目標値を達成し、決勝大会の観覧希望者数は常に定員を超える申し込みがある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	策伝大賞の学生エントリー、観覧希望者、各イベントの周知は制限なく広く実施されており、有料落語会は実行委員会で適正な観覧料を徴収している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和4年度のアンケートの結果からも事業の継続を望む声が多く、全国から本市に集う学生に、本市の魅力やPRすることができる貴重な事業であるため、継続実施していくべき。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 005

【1.基本情報】

事業名	富山市との観光物産交流事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	岐阜市・富山市観光物産交流推進協議会	
開始・終了年度	平成	20	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	当事業は、平成19年12月26日に富山市と締結した「岐阜市・富山市都市間交流協定」を受けて実施するもので、両市の連携・交流を一層充実させ、圏域を越えた新しい時代の都市間交流を行いながら広域交流の推進、広域連携の推進を図っていく。	
内容 (手段・手法など)	岐阜市、富山市が合同で観光物産展事業、交流人口拡大事業等を実施する。	
事業の 対象	何を	岐阜市、富山市合同の観光物産展及び誘客推進事業
	誰に	市民、企業等
	どのくらい	岐阜市・富山市相互の観光物産展をそれぞれ2回ずつ開催。鶯飼や遊覧船など各種料金割引事業の実施。両市の交通動線周辺地域における観光物産展を1回開催。
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	両市合同事業において首都圏イベントでのパンフレット配架から現地での観光展参加へ変更。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,250	100	3,230	100	3,180	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,250	100	3,230	100	3,180	100

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		852	663	1,067
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	852	663	1,067
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		852	663	1,067

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	4,102	3,893	4,247

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	4,102	3,893	4,247

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	富山市民	富山市民	富山市民
受益者数	58	53	75
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	70,724	73,453	56,627

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	物産展、割引利用の実施件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	30	30	50	
実績値	59	56	78	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜市観光HPアクセス数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	120,000	120,000	120,000	
実績値	312,440	368,229	538,151	
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	両市のPRと相互交流の推進を図っていくためには今後も必要な事業 であると考えている。 協議会事業として、民間の協力も得ながら各種事業を実施している。 観光物産展開催等に伴い、各種手続きが必要であるため、事務に関 しては市が取りまとめる必要がある。 「岐阜市・富山市都市間交流協定」を受けて観光の視点から行ってい る事業はこれ以外にない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	交流人口拡大事業として、富山市民を対象に岐阜市の鵜飼乗船料割引助成 事業を実施しているが、利用者があまり多くなかったため、令和元年度より観 光施設利用料割引助成、また、令和3年度より宿泊料割引助成を開始したとこ ろである。観光展は、毎回1万人を超える人がイベントに訪れている。 両市の協議会で実施しており、観光関連事業者の協力も得ながら進 めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	両市で、イベント等に合わせて観光物産展を開催しており好評を得て いる。交流人口拡大事業についても年々利用者が増加しており、今後 は効果的なPRが必要。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	富山市民を対象に岐阜市の鵜飼乗船料割引助成事業、観光施設割 引助成事業及び宿泊料割引助成事業を実施。また、岐阜市民を対象 に富山市の乗り物利用料割引、宿泊施設割引事業及び飲食代金割 引助成事業を実施しており、両市の交流人口拡大を促進している。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	改善	毎年、負担金の市への戻入が多く発生していたことから、令和3年度より 負担金を30万円減額し130万円とした。利用者が少なかった交流事 業については、新たなメニューを増やすなど対策を施したところであ り、今後は効果的な周知活動を行うため、市有施設等での周知活動を 行う。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660020	__ 006
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	日本観光振興協会負担金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	公益社団法人 日本観光振興協会
開始・終了年度	平成	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画
					—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本市における国内外の観光客の増加促進				
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国広域観光振興事業(観光地域づくり基盤形成事業、広域観光促進事業など) ・観光人材育成事業(観光セミナーの開催、研修会等の開催) ・観光交流活性化事業(地域インバウンド推進事業など) 				
事業の 対象	何を	岐阜市の観光情報			
	誰に	国内外の観光客			
	どのくらい	人材育成研修支援、地域社会支援、観光展開催3件 など			
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		270	270	270
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	270	270	270
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		270	270	270

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	303	302	302

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	303	302	302

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市	市	市
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	日本観光振興協会負担金		単位	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	270	270	270	270
実績値	270	270	270	270

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市が参加した観光展及び商談会		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	4	4	4	4
実績値	0	0	0	0
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	国が新たな観光ビジョンを策定し、観光先進国に向けて事業展開する中、本市においても、国と連携した観光誘客施策は重要である。 市単独では実施できない観光展に参加できるなど、会員となるメリットは大きく、同協会への支出は必要である。 日本観光振興協会が運営するホームページでの情報発信が行えるメリットがある。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施できない観光展に参加できるなど、スケールメリットを生かした事業に参加でき、費用対効果は高い。 同協会は、我が国の観光振興に関する中枢機関として活動している公益社団法人であり、代替の方法はない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	同協会が主催する観光展への参加や、フォーラムなどに参加することで効果的な誘客活動、情報収集ができています。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	市が受益者として、同協会の観光展やフォーラムに参加することで、幅広い誘客活動につながっている。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	外国人観光客を誘致するうえで、国と連携し、事業展開することは重要であり、今後も同協会への加入は必要である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 007

【1.基本情報】

事業名	東海地区外国人観光客誘致促進協議会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	東海地区外国人観光客誘致促進協議会
開始・終了年度	平成 10 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	外国人観光客の誘致				
内容 (手段・手法など)	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県及び名古屋市、静岡市、浜松市及び観光関係団体などが連携し、東海地区への外国人観光客の誘致を目指し、海外プロモーション、海外エージェンツ、プレス招聘事業などを行っている。岐阜市は岐阜県部会の会員として、岐阜県、県内市町村、観光関係団体などと連携を図り、各種事業を行っている。				
事業の 対象	何を	岐阜市の観光情報			
	誰に	外国人観光客			
	どのくらい	海外向けプロモーション(台湾、シンガポール、タイ、フィリピンほか) など			
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		200	200	200
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	200	200	200
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		200	200	200

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	233	232	232

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	233	232	232

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	市	市	市
受益者数	-	-	-
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	プロモーション及び商談会の実施件数		単位	件数
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	6	6	6	6
実績値	6	6	6	6

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	長良川温泉宿泊者数		単位	千人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	300	300	300	300
実績値	143	114	114	184
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	訪日観光客数の増加が今後も見込まれるなか、県、市町村等の連携 による海外からの誘客事業はスケールメリットの面や情報共有の面から も重要である。 県が中心となり各市町村が主体となって行うべき事業である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	1市単独では実施できない事業を県及び参加団体の負担で行うため、 費用対効果は高い。 現状として県が中心となり実施している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	岐阜市単独で海外からの誘客を図るには限界があり、広域連携での 誘客は必要不可欠である。また、海外からの誘客は、官民が協働で誘 客する必要がある。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	受益者は市となり、公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いて いるため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充 又は改善することが困難であり、現状のまま 事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や 縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、 事業を取りやめる	現状 維持	岐阜市単独で、海外からの個人旅行者の誘客を図ることは難しいた め、協議会による広域連携を活かしたPRは必要である。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 008

【1.基本情報】

事業名	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶺鴒伝承館)運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	JNFうかいミュージアム	
開始・終了年度	平成	24	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市長良川鶺鴒伝承館条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市を代表する伝統文化である“ぎふ長良川の鶺鴒”を「護り」「伝え」「広める」活動を通して、その魅力を広く紹介・発信するため、施設を供与する。					
内容 (手段・手法など)	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶺鴒伝承館)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、「長良川鶺鴒文化」の発信、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、指定事業および自主事業の実施を行う。					
事業の 対象	何を	長良川うかいミュージアム(岐阜市長良川鶺鴒伝承館)の施設等				
	誰に	観光客、市民などの施設利用者				
	どのくらい	60,000人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,900	120	3,876	120	3,816	120
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,900	120	3,876	120	3,816	120

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		111,915	121,963	132,182
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	100,586	121,631	128,668
	工事請負費	0	0	990
	備品購入費	1,031	332	468
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		111,915	121,963	132,182

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	115,815	125,839	135,998

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	21	21	21
その他	2,069	2,136	2,770
計(F)	2,090	2,157	2,791

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	113,725	123,682	133,207

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	来場者	来場者	来場者
受益者数	59,872	53,321	115,008
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,899	2,320	1,158

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	開館日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	330	331	332	
実績値	291	261	332	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	来館者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	65,800	70,000	60,000	
実績値	16,535	17,582	35,426	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	岐阜市の重要な観光資源である鶺鴒の文化を広く紹介・発信し、護り、その魅力を伝えることができる唯一の施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	展示室への来館者数が目標値に対して伸びておらず、費用対効果が低い。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費削減が図られている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	魅力的な企画事業を実施し、地域振興という意味では効果が得られているものの、展示室への入館には結びついておらず、鶺鴒の文化の発信という意味でさらなる工夫が必要。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	魅力的な企画事業の実施により施設への来場者は確保できているものの、展示室への来館者は増加していない。鶺鴒の文化をより魅力的に発信できるよう、指定管理者と連携した維持管理に努める。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660020	— 009
----	---------	-------

【1.基本情報】

事業名	JR岐阜駅構内岐阜市観光案内所運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(その他)	補助等の種類		実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会	
開始・終了年度	平成	9	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	観光案内所利用者に対し、観光情報をはじめとする様々な情報を提供し、案内業務を行うことでホスピタリティの向上を図るとともに、本市の魅力をわかり易く伝え、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加を目指す。					
内容 (手段・手法など)	観光客をはじめとする本市へお越しになられた方々に対し、観光情報をはじめとする様々な情報を提供する案内業務を行うほか、観光案内所の運営管理を行う。					
事業の 対象	何を	観光情報をはじめとする本市の情報				
	誰に	観光案内所利用者				
	どのくらい	60,000人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,300	40	1,292	40	954	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,300	40	1,292	40	954	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		13,819	13,812	15,102
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	13,819	13,051	13,821
	修繕料	0	205	269
	工事請負費	0	0	327
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		13,819	13,812	15,102

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	15,119	15,104	16,056

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	15,119	15,104	16,056

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	観光案内所利用者	観光案内所利用者	観光案内所利用者
受益者数	27,439	24,152	45,931
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	551	625	350

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)）

活動指標名	観光案内所開庁日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	365	365	365	
実績値	365	305	365	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	観光案内所利用者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	40,000	40,000	60,000	
実績値	27,439	24,152	45,931	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	本市の玄関口であるJR岐阜駅において、観光情報を提供しホスピタリティ向上を図ることで、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加につながっている。 本市の観光情報発信拠点の設置に関しては市が担うべきである。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	コロナ禍前の8割程度まで利用者数が回復したが、まだ目標値には達していない。 観光情報や案内業務のノウハウを持つ観光コンベンション協会に委託する方法が最も効率的な方法である。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	本市の玄関口であるJR岐阜駅において、観光情報を提供することは、有効である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	観光案内業務の性質上、受益者負担は適さない。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	案内所利用者に対し、効果的な観光情報を提供することで、観光客の満足度向上及び観光消費額の増加につながると思われ、今後も事業継続の必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660020	010
----	---------	-----

【1.基本情報】

事業名	シェアサイクル事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	ecobike(株)	
開始・終了年度	令和	4	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市シェアサイクル事業実施要綱

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本市の観光振興に資する二次交通手段を確立させ、本市へのさらなる誘客を図るため、また観光客のみならず、市民も利用しやすい日常の足として利用促進を図る。					
内容 (手段・手法など)	市内に設置するサイクルポート間で自由に貸出・返却が可能なシェアサイクルを導入。また、短時間から利用できる料金設定により、市民にとっても一層利用しやすい環境を整える。アプリからの乗車手続きとキャッシュレス決済への対応により、利用者の利便性向上を図る。					
事業の 対象	何を	シェアサイクル(シェアサイクルポート)				
	誰に	市民及び観光客				
	どのくらい	JR岐阜駅などの24ヶ所のポートで、合計130台の自転車を貸し出す。				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	0	0	2,862	90
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	0	0	2,862	90

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		0	0	18,645
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	0	0	18,213
	手数料	0	0	194
	工事	0	0	68
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	0	18,645

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	0	0	21,507

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	9,276
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	5,256
計(F)	0	0	14,532

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	0	6,975

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	シェアサイクル利用者	シェアサイクル利用者	シェアサイクル利用者
受益者数	-	-	6,356
受益者負担額(千円)	0	0	4,502
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	20.9%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	1,097

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	シェアサイクルポート		単位	箇所
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	0	0	24	
実績値	0	0	24	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	シェアサイクル利用件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	0	0	-	
実績値	0	0	15,650	
達成状況	—	—	—	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	本市の観光資源が駐車場の少ない市中心部に集積する中、自転車などの2次交通の整備は重要である。 民間事業者による事例はあるが、ホテルによる宿泊者限定利用や、店舗でのスポーツバイク貸出などその利用は限定的である。多くの観光客に利用してもらうための広域的な整備は市が行なうべき。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	事業費に対する収益率は約28%であり、決して高くない。 民間を活用し、ポートの無人化やキャッシュレス決済を令和4年度から導入した。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込みか ※【2】【7】から	中	本市の観光振興に資する二次交通手段として、観光客の周遊促進に寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	無人化を図り24時間の利用が可能としたため、利用にあたってはスマートフォンが必須となっている。観光案内所においてスマートフォンの貸出を行っている。
【総合評価】 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	令和4年度から、これまでのレンタサイクル事業から形態転換し、シェアサイクル事業を開始した。新たな料金設定やキャッシュレス決済、24時間利用可能な無人ポートを導入し、利用者の利便性向上を図った。今後も、新たなサイクルポートを設置するなど利便性の向上に努め、利用者の増加を図る。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 011

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか博士育成事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	市民・事業者・行政の3者が協働で市内の歴史、素材を活用したまちの活性化を図る					
内容 (手段・手法など)	岐阜市まちなか博士認定試験の実施 ※平成29年度については信長公450プロジェクトを記念した「信長検定」を実施					
事業の 対象	何を	岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得				
	誰に	市民及び観光事業従事者(申込者数:約300人)				
	どのくらい	年一回認定試験の実施				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	975	30	969	30	954	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	975	30	969	30	954	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		992	399	844
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	印刷製本費	649	113	559
	報酬	164	132	137
	使用料	133	139	95
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		992	399	844

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,967	1,368	1,798

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,967	1,368	1,798

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	試験申込者数	試験申込者数	試験申込者数
受益者数	255	227	276
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	7,714	6,026	6,514

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	試験開催回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1	1	1	1
実績値	1	1	1	1

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	受験者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	210	210	210	210
実績値	179	181	181	209
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	観光事業者の新規採用者など毎年200名近い申込者数があり、本市のホスピタリティ向上を図るニーズに合っている。 岐阜市の歴史・地理・文化等の知識、教養の習得を目的とするため、国や県での実施は難しい。また営利目的では受験者数が減少する恐れがあり、民間事業者が主催での実施は難しい。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	必要最低限の予算内で実施している中で、受験申込者が観光事業従事者など200名近くあることから、費用対効果は高い。 専門的知識や市民目線を持つ有識者の協力のもと、必要最低限の予算内で実施している。民間活用することにより、予算増に繋がる恐れがある。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	事業を実施することで、本市の魅力の説明できる人材が育成される。また、観光事業(宿泊施設、観光施設等)の従事者が受験することで、得た知識が観光客へ発信されるなど、本市の観光PRに寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	受益者負担がないことで、受験に係る制限は少なく、申込者数が確保できるメリットがある反面、未受験者が発生しやすいというデメリットがある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	これまで、のべ約5,300人と多くの方が受験申込し、合格者がまちなか案内人になるなど、まちなか歩き・まちなか観光の推進や市民の知識向上にも大いに貢献している。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 012

【1.基本情報】

事業名	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他補助金	実施主体	岐阜・下呂・郡上観光宣伝協議会	
開始・終了年度	平成	16	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜県を代表する主要観光地である岐阜市、下呂市、郡上市の3市が共同して観光客の誘致及び宣伝を行い、お互いの相乗効果を図るとともに、パブリシティの効用を一層高めること					
内容 (手段・手法など)	3市への観光客誘致宣伝活動					
事業の 対象	何を	岐阜市の観光情報				
	誰に	観光客となりうる全ての人々(外国を含む)				
	どのくらい	旅行商品9種、WEB記事4社				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,250	100	3,230	100	3,180	100
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,250	100	3,230	100	3,180	100

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		2,000	2,000	2,000
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	2,000	2,000	2,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		2,000	2,000	2,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	5,250	5,230	5,180

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	5,250	5,230	5,180

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市・下呂市・郡上市	岐阜市・下呂市・郡上市	岐阜市・下呂市・郡上市
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	香港市場における広告発信回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	10	10	10	
実績値	25	47	21	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	香港からの宿泊客数(長良川温泉)		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	7,000	7,000	7,000	
実績値	1,199	0	398	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	政府は2030年に訪日外国人旅行者の6,000万人の達成を目指すとしており、本市でも広域連携を組み合わせながら、外国人旅行者の誘致や交流人口の拡大に努める必要がある。 岐阜県を代表する主要観光地である岐阜市・下呂市・郡上市の3市で協議会を設立し、共同して観光客の誘致及び宣伝を展開しており、岐阜市としても事業を担うに必要がある。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	1市単独ではできない事業を3市でそれぞれ負担し、県や国からの補助金を得て実施しているため、費用対効果は高い。 3市の協議会で実施していることに加え、近年では中部国際空港等とも連携して、更に事業を広域展開するなど効率的に実施できている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	効果的な誘客を図るためには、テーマ性を持った広域連携は必要不可欠である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	低	受益者は市になるため、受益者負担の面では公平であるが、3市の負担金割合の面では負担金額に差があり、検討の必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	新型コロナウイルス感染症拡大にともなう入国制限のため、令和4年度は、外国人観光客が実際に岐阜市を訪れる機会にはつながらなかったものの、ポストコロナを見据え、継続的にプロモーション事業を実施してきた。3市が連携することにより外国人観光客に対し効率的なアプローチを実施することができることから、今後も効果的なPR方法を検討し、エリア一体の認知度をさらに上げていく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 013

【1.基本情報】

事業名	クアオルトぎふの魅力づくり					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	クアオルト健康ウォーキングと本市の歴史資産、温泉等を組み合わせたヘルスツーリズムなど「クアオルト(=健康保養地)ぎふ」の魅力づくりを推進する。					
内容 (手段・手法など)	観光、企業、保険者、医療機関、健康関連事業者等とともに官民一体となってクアオルト健康ウォーキングを推進することにより、民間における滞在プランの開発を促し、市民の健康増進に加え、本市への交流人口の増加を図る。					
事業の 対象	何を	岐阜市クアオルト健康ウォーキング				
	誰に	岐阜市を訪れる観光客				
	どのくらい	週2回程度				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	969	30	954	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	969	30	954	30

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	211	370
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報酬	0	135	180
	報償費	0	73	73
	需用費	0	2	1
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	211	370

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	1,180	1,324

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	36	37
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	36	37

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	1,144	1,287

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	—	市	市
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	旅行商品数		単位	種類
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	1	1
実績値	—	—	3	2

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	長良川温泉宿泊客者数		単位	千人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	—	—	300	300
実績値	—	—	114	184
達成状況	—	×	(未達成)	(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	ヘルスツーリズム等、観光ニーズの多様化は今後ますます進むものと予想され、本事業の推進は観光客の満足度向上のためにも必要である。 市民の健康増進のほか、本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信を通して本市への観光客誘致を目的としており、市が担う必要がある。 類似の事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	「健康経営」に取り組む企業からの問い合わせや参加が増加しており、ヘルスツーリズム実践のまちとしての認知度向上に寄与する事業であることから費用対効果は高い。 観光、企業、保険者、医療機関、観光関連事業者等からなる協議会を組織しており、情報共有や意見交換を行いながら事業を進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	ヘルスツーリズムに関する取り組みは本事業のみであり、本市の観光振興に大いに寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	市内外を問わず受益対象者になり得るため公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本事業は効率性、有効性、公平性が高いため、現状維持で継続していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 014

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(コンベンション推進)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会	
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市及び周辺の産業、技術及び文化、歴史などの資源を活用し、コンベンションの誘致、開催支援、及び国際会議観光都市岐阜の広報、宣伝等の事業を行うことにより、岐阜市におけるコンベンション並びに観光の振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資すること					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・コンベンション振興のための広報、宣伝、誘致及び受入 ・コンベンションの開催に係る支援 ・観光及びコンベンションに係る環境基盤 					
事業の 対象	何を	本市のコンベンション関連情報				
	誰に	コンベンション主催者となり得るすべての人々				
	どのくらい	定期的なコンベンション主催者に対する誘致活動、国内観光客誘致、海外旅行客誘致など				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)		20,802	20,802	19,813
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	20,802	20,802	19,813
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		0	0	0
計(D)=B+C		20,802	20,802	19,813

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	20,835	20,834	19,845

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	20,835	20,834	19,845

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	4,280,808	3,736,881	5,926,099
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	5	6	3

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	公益目的事業 コンベンション開催助成			単位	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	10,000	10,000			10,000
実績値	520	920			2,140

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	市内コンベンション開催件数			単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	300	300			300
実績値	82	118			203
達成状況	×(未達成)	×(未達成)			×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	本市においてコンベンション推進は重要な施策であり、市や民間事業者が協働して進めるべき観光施策の実働部隊として協会が機能している。 協会の財源として賛助会費、商工会議所負担金などだけでは運営困難であり、協会設置の目的から市も担う必要がある。 市内にコンベンション推進を担う類似団体はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	効率的な事業展開により、200件以上のコンベンション誘致につながっている。 市負担金だけでなく、商工会議所負担金、賛助会費等により運営されている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	協会の事業運営により、多くのコンベンション開催実績につながっている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	地域やターゲット、時期など幅広く情報発信することが本市へのコンベンション誘致につながっており、情報を享受した個々からの受益者負担はなじまない。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、今後も引き続き負担金による支援を継続すべきである。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 015

【1.基本情報】

事業名	岐阜観光コンベンション協会運営負担金(観光振興)					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	その他負担金	実施主体	(公財)岐阜観光コンベンション協会	
開始・終了年度	平成	17	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市及び周辺の産業、技術及び文化、歴史などの資源を活用し、コンベンションの誘致、開催支援、及び国際会議観光都市岐阜の広報、宣伝等の事業を行うことにより、岐阜市におけるコンベンション並びに観光の振興を図り、もって国際相互理解の増進並びに地域経済の活性化及び文化の向上に資すること					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光及びコンベンションに係る環境基盤の整備 ・観光振興のための広報、宣伝、誘致及び受入 ・岐阜市の運営する観覧船事業の支援 					
事業の 対象	何を	本市の観光情報				
	誰に	旅行会社等観光関係事業者および観光客				
	どのくらい	各種商談会参加、宿泊キャンペーン開催、観光展出展				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	33	1	32	1	32	1
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	33	1	32	1	32	1

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		37,144	37,144	37,787
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	37,144	37,144	37,787
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		37,144	37,144	37,787

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	37,177	37,176	37,819

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	37,177	37,176	37,819

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	4,280,808	3,736,881	5,926,099
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	9	10	6

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	鵜飼等招請事業での会社数			単位	社
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	40	40	40		
実績値	中止	中止	33		

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	長良川温泉旅館宿泊者数(県内を除く)			単位	人泊
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	250,000	250,000	250,000		
実績値	99,949	72,865	129,733		
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	本市において観光振興は重要な施策であり、市や民間事業者が協働して進めるべき観光施策の実働部隊として協会が機能している。 協会の財源として賛助会費、商工会議所負担金などだけでは運営困難であり、協会設置の目的から市も担う必要がある。 岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、類似団体はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	低	効率的な事業展開により多くの入込客数を記録し、観光振興につながっている。 市負担金だけでなく、商工会議所負担金、賛助会員会費等により運営されている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	低	旅行会社等の招請により、各社の旅行商品が増加し、ひいては観光客誘致につながっている。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	地域やターゲット、時期など幅広く情報発信することが本市への観光客誘致につながっており、情報を享受した個々からの受益者負担はなじまない。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市の観光・コンベンション振興を担う唯一の組織であり、今後も引き続き負担金による支援を継続すべき。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 016

【1.基本情報】

事業名	長良川流域観光推進協議会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	長良川流域観光推進協議会
開始・終了年度	平成 28 年度 ~	年度	根拠法令・関連計画	—	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	長良川上・中流域に存在する魅力的な地域資源を観光資源として活用し、当該流域を周遊・滞在する観光地づくりについて、観光事業者・地域連携DMOとともに推進する。				
内容 (手段・手法など)	当該流域における周遊・滞在型観光造成事業、情報発信事業				
事業の 対象	何を	当該流域における周遊・滞在型観光			
	誰に	市民、企業等			
	どのくらい	通年利用ができる体験プログラムの他、交通機関と連動した観光企画を各時期に展開			
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,625	50	1,615	50	1,590	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,625	50	1,615	50	1,590	50

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		1,000	916	1,000
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	1,000	916	1,000
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		1,000	916	1,000

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,625	2,531	2,590

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	500	457	500
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	500	457	500

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	2,125	2,074	2,090

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市・関市・美濃市・郡上市	岐阜市・関市・美濃市・郡上市	岐阜市・関市・美濃市・郡上市
受益者数	0	0	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	0	0

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	着地型商品数		単位	種類
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	30	30	30	
実績値	97	97	101	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	長良川温泉宿泊者数		単位	千人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	300	300	300	
実績値	143	114	184	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	4市連携のスケールメリットを生かした誘客を図っていくため、今後も必要と考えられる事業である。 協議会の事務局は県が担い、NPO法人ORGANや民間の協力も得ながら各種事業を実施している。岐阜市への誘客推進を図るため、市も事業を担う必要がある。 長良川流域の観光資源をPRし周遊に繋げる広域的取り組みであり、類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	本市の新たな体験型観光商品の開発や、1市単独ではできない事業について、国補助金を得たうえ4市で実施しているため、費用対効果は高い。 4市の協議会で実施し、かつ観光関連事業者の協力も得られており、効率的に事業を進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	これまでにも多様な観光商品が造成されており、これを生かし効果的な誘客を図るためには、テーマを有する広域連携が不可欠である。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	ガイドマップ、WEBサイト等、広く市民にも情報を発信しており、公平性は高い。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	新型コロナウイルス感染症の影響により、成果指標としている長良川温泉宿泊者数の目標は未達成となったものの、世界農業遺産など、長良川流域におけるテーマを有する広域連携が生み出す誘客施策は効果的であり、令和5年度以降も国補助を受けながら事業を継続していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 017

【1.基本情報】

事業名	岐阜県観光連盟負担金					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	補助等	補助等の種類	加入団体負担金	実施主体	一般社団法人岐阜県観光連盟	
開始・終了年度	平成	元	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本市における観光客の誘致					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光商品販売促進事業(海外誘客プロモーション事業、インターネット販売促進事業など) ・飛騨美濃じまん観光キャンペーン強化事業(教育旅行誘致事業など) 					
事業の 対象	何を	本市を含む国内観光情報				
	誰に	国内外の観光客・旅行会社など				
	どのくらい	商談会、国内観光物産展、ホームページ「ぎふの旅ガイド」運営など				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	163	5	162	5	159	5
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	163	5	162	5	159	5

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		423	423	423
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	423	423	423
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		423	423	423

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	586	585	582

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	586	585	582

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	国内外観光客の岐阜市宿泊者数	国内外観光客の岐阜市宿泊者数
受益者数	350,621	430,897	610,910
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2	1	1

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	負担金額		単位	千円
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	423	423	423	
実績値	423	423	423	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	国内外観光客の岐阜市宿泊者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	700,000	700,000	700,000	
実績値	350,621	430,897	610,910	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	観光情報源が多様化する中、同連盟が運営するHP「ぎふの旅ガイド」は個人・団体等様々なユーザーに活用されており、本市への誘客促進を図るうえで重要である。 市単独で誘客を図るにも限界があり、会員になることで広域的な連携のもと誘客に取り組むことが可能になる。 同連盟は、県内の観光振興の取りまとめを担う一般社団法人であり、代替できる組織は存在しない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか(広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市単独では実施が難しい観光展への参加、広域連携が図られたHPの運営など、スケールメリットを生かした事業に参画できることから、費用対効果は高い。 同連盟は、県内の観光振興の取りまとめを担う一般社団法人であり、代替できる組織は存在しない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	同連盟が主催する観光展への参加や、広域連携が図られたHPの運営に協力することにより、効果的な誘客促進につながっており、今後も効果が見込まれる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市内に宿泊した観光客が受益者となるが、観光客は宿泊代や飲食代を支払っており、適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	国内外への誘客促進に取り組む中で、広域連携を進めることは重要であり、今後も同連盟への加入が必要と考えられる。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 018

【1.基本情報】

事業名	岐阜市まちなか観光推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜市を訪れた観光客に対しおもてなしの心を持って接することで、観光客の満足度を上げ、岐阜市のイメージアップに繋げるとともに、リピーターを確保する。					
内容 (手段・手法など)	岐阜市まちなか案内人の会の活動の充実と組織体制の更なる強化を支援し、岐阜公園周辺・川原町界限などにおける観光案内拡充を図ることで、案内体制の整備・強化とホスピタリティの向上を目指す。					
事業の 対象	何を	岐阜公園周辺・川原町界限を中心とした観光案内				
	誰に	岐阜市を訪れる観光客				
	どのくらい	毎日				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,625	50	1,615	50	1,590	50
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,625	50	1,615	50	1,590	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		26	100	222
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	報償費	0	25	136
	消耗品費	26	75	85
	印刷製本費	0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		26	100	222

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,651	1,715	1,812

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	1,651	1,715	1,812

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	観光客	観光客	観光客
受益者数	492	859	716
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	3,356	1,997	2,531

【7.指標】

アウトプット評価(資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	岐阜市まちなか案内人の会員数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	50	50	50	
実績値	53	53	53	

アウトカム評価(アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	案内件数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	100	100	100	
実績値	48	44	93	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	観光ガイドに関する問い合わせが多く、本事業は観光客の満足度向上のためにも必要である。 岐阜市まちなか案内人の会は、岐阜市まちなか博士認定試験合格者の有志で組織されており、市内の観光案内を通じて本市の観光振興に寄与する団体であることから、市の支援が必要である。 ボランティアでガイドを行う類似団体は市内に無い。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	必要最低限の予算内で会の支援を行う中で、「歴史探訪登山」「歴史探訪まち歩き」は定員を超える申し込みがあることから、費用対効果は高い。 岐阜市まちなか案内人の会は、岐阜市まちなか博士認定試験合格者の有志で組織されており、まちなか博士育成事業と連携した観光ボランティアガイドとして効率的な仕組みを実現している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	本事業により、岐阜市まちなか博士認定試験の合格者に活動の場を提供するとともに、本市の魅力をより詳細に説明できる人材が育成され、本市の観光振興に大いに寄与している。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	全ての観光客が受益対象者になり得るため公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市まちなか案内人の会は観光ボランティアガイドとして一定数の需要があり、平成26年度からはボランティア団体として独立している。よって、会の活動支援の方法について、他団体との関係も含めて検討が必要。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 019

【1.基本情報】

事業名	長良川国際会議場運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	トリニティぎふ	
開始・終了年度	平成	7	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市長良川国際会議場条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	国際コンベンション都市づくりの拠点として、産業、学術及び文化の向上を図るとともに、市民福祉の向上を図るため、施設を供与する。					
内容 (手段・手法など)	長良川国際会議場の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設及び設備等の保守管理、自主事業の実施。					
事業の 対象	何を	長良川国際会議場の施設等				
	誰に	施設利用者				
	どのくらい	280,000人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,950	60	1,938	60	1,908	60
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,950	60	1,938	60	1,908	60

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		331,990	258,992	205,967
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	215,022	209,507	199,843
	工事請負費	101,497	43,832	869
	備品購入費	3,479	4,861	4,579
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		288,810	288,810	288,810
計(D)=B+C		620,800	547,802	494,777

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	622,750	549,740	496,685

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	91,500	30,100	3,100
使用料・手数料	336	397	346
その他	999	15,404	25,251
計(F)	92,835	45,901	28,697

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	529,915	503,839	467,988

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	51,851	91,668	185,632
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	10,220	5,496	2,521

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	359	359	359	359
実績値	359	359	359	359

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	利用者数		単位	千人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	280	280	280	280
実績値	52	92	92	186
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	MICEの推進は市としても重要であり、その中心的な施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。 類似施設はなし
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	管理経費(事業費)には多額の費用を要するものの、高い利用者満足度から費用対効果はあると考える。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費の削減が図られている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が多少残る中、施設料金稼働率は約34%から約45%とコロナ禍前の水準近くまで回復した。今後も効果が見込まれる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	施設の設置目的を果たし、多くの利用者に高い満足度のもと利用されている。施設老朽化に係る課題があるため、指定管理者とともに長寿命化を念頭においた維持管理に努める。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660020	__ 020
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	岐阜城天守閣耐震化					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	平成	28	年度～	年度	根拠法令・関連計画 岐阜城天守閣耐震化計画	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	平成28年度実施の地質調査、平成30年度実施の耐震診断の結果、岐阜城には耐震性が不足している階層があることが判明したため、耐震性を向上させる必要がある。 また、設備の経年劣化や展示の内容など、過去から残る課題を解決するため、岐阜城天守閣の耐震化工事等を実施する。					
内容 (手段・手法など)	岐阜城及び資料館の耐震化及び展示内容の変更					
事業の 対象	何を	岐阜城及び岐阜城資料館				
	誰に	観光客、市民				
	どのくらい	230,000人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	令和2～3年度にかけて策定された岐阜城天守閣耐震化計画を基にした耐震化工事と、設備の経年劣化など過去から岐阜城が抱える課題を解決する岐阜城リニューアルに向けた実施設計を行う。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,430	44	1,421	44	1,399	44
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,430	44	1,421	44	1,399	44

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		13,214	8,460	12,887
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	12,965	8,193	12,887
	報酬	173	219	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		13,214	8,460	12,887

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	14,644	9,881	14,286

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)		
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	14,644	9,881	14,286

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	入場者	入場者	入場者
受益者数	157,560	143,378	252,383
受益者負担額(千円)	28,791	26,020	46,115
受益者負担率(%)	196.6%	263.3%	322.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	93	69	57

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	岐阜城天守閣耐震化等実施設計			単位	-
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	-	-	-		
実績値	-	-	-		

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	岐阜城天守閣耐震化等実施設計一式			単位	-
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	-	-	-		
実績値	-	-	-		
達成状況	—	—	—		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	平成28年度実施の地質調査、平成30年度実施の耐震診断の結果、岐阜城には耐震性が不足している階層があることが判明したため、耐震性を向上させる必要がある。 市が直営で管理しているため必要である。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜城天守閣耐震化検討委員会にて、岐阜城天守閣耐震化計画を策定している。 岐阜城天守閣耐震化検討委員会にて、岐阜城天守閣耐震化計画を策定している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	耐震性を向上させることで、観光客の安全性を担保する。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	耐震化工事等に合わせ、受益者負担について検討する必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	コロナ禍前は、約25万人の入場者数があり、本市の観光のシンボルであるため、岐阜城天守閣耐震化計画に基づき、耐震化を図る必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660020	__ 021
----	---------	--------

【1.基本情報】

事業名	岐阜城運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	昭和	31	年度～	年度	根拠法令・関連計画 岐阜城条例	

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	岐阜城は、岐阜市を代表する観光施設の1つである。住民の福祉を図り、郷土の史蹟の保存および周辺の観光施設への誘客のため、施設の運営管理を行う。					
内容 (手段・手法など)	岐阜城の運営、施設内外の保全、施設及び設備の保守管理。					
事業の 対象	何を	岐阜城及び岐阜城資料館				
	誰に	観光客、市民				
	どのくらい	230,000人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,120	96	3,101	96	3,053	96
パートタイム会計年度任用職員A	3,214	312	3,224	313	5,272	522
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	6,334	408	6,325	409	8,325	618

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		65,694	51,648	43,598
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	44,085	44,340	31,962
	工事請負費	0	0	0
	消耗品費	869	709	562
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		1,979	1,979	1,979
計(D)=B+C		67,673	53,627	45,577

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	74,007	59,952	53,902

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	28,798	26,020	46,115
その他	1,984	1,772	2,033
計(F)	30,782	27,792	48,148

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	43,225	32,160	5,754

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	入場者	入場者	入場者
受益者数	157,560	143,378	252,383
受益者負担額(千円)	28,791	26,020	46,115
受益者負担率(%)	38.9%	43.4%	85.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	274	224	23

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	開館日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	365	365	365	
実績値	320	295	365	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	利用者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	330,000	230,000	230,000	
実績値	157,560	143,378	252,383	
達成状況	×(未達成)		○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	令和4年度は約25万人の入場者がありニーズには合っている。 市が国有林野の貸付を受けており、城郭・資料館・沿路を含めた山頂部の包括的な管理が必要となる。林野庁や文化庁など他官庁との調整も多いため、市が直営で管理する必要がある。 岐阜市を代表する唯一無二の観光施設である。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	施設単体での費用対効果は高くないが、周辺にある観光施設への間接的な経済効果が高い施設である。 市が主体的に運営管理しているが、日常の維持管理業務については民間を活用しており、経費を削減している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	成果指標である利用者数について、令和4年度は目標値であった23万人を大きく上回り約25万人の利用者があった。今後も同様の効果が見込まれる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	現在は、施設の老朽化等の要因もあり受益者負担は適正と考えられるが、施設の改修等を実施した際には、受益者負担の増額を検討する必要がある。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	運営等に関しては問題ないが、老朽化に伴い、施設の耐震化と周辺設備の改修が必要。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 022

【1.基本情報】

事業名	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	T・H・Bファシリティズ	
開始・終了年度	平成	19	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市文化産業交流センター条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	地域交流、文化活動および産業活動の拠点として、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図るため、施設を供与する。					
内容 (手段・手法など)	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の運営(利用受付、貸室等の貸出し、利用料金の徴収など)、イベント・コンベンションの誘致、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理、自主事業の実施。					
事業の 対象	何を	じゅうろくプラザ(岐阜市文化産業交流センター)の施設等				
	誰に	施設利用者				
	どのくらい	190,000人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,950	60	1,938	60	1,908	60
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	1,950	60	1,938	60	1,908	60

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		134,303	87,054	66,838
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	82,290	77,297	51,047
	工事請負費	13,618	6,809	10,450
	備品購入費	30,066	2,948	5,341
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		7,429	7,429	7,429
計(D)=B+C		141,732	94,483	74,267

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	143,682	96,421	76,175

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	1,800
使用料・手数料	4,259	3,702	3,596
その他	10,318	10,102	21,374
計(F)	14,577	13,804	26,770

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	129,105	82,617	49,405

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	46,983	70,047	96,435
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,748	1,179	512

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	359	359	359	359
実績値	304	289	289	359

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	利用者数		単位	千人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	100	100	100	100
実績値	46	70	70	96
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	岐阜駅前に位置しており、地域交流の促進、文化の向上および産業の振興を図ることができる中心的な施設として不可欠である。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。 長良川国際会議場と類似性はあるが、岐阜駅前に位置している点及び施設の規模が全く異なることから、統廃合は困難と考えられる。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	収益性の高い施設である。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費の削減が図られている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	コロナ感染症の影響が残ってはいるが、施設料金稼働率は約34%から約42%に回復し、今後も効果が見込まれる。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	岐阜市のコンベンション及び文化産業の推進に役立つとともに、利用料金収入、利用者数の増加も見込めるため、引き続き現状の運営管理をしていくことが妥当であると考えられる。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 023

【1.基本情報】

事業名	フォトツーリズム推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	2	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本事業は新し観光の在り方の一つである「写真撮影」を切り口とした「フォトツーリズム」の魅力を発掘・発信し、本市への誘客を図る。					
内容 (手段・手法など)	<ul style="list-style-type: none"> ・「月と岐阜城」の写真撮影体験(「月と岐阜城」スマートフォン撮影ツアー)の商品化 ・フォトスポットをまとめたWEBサイトの運営及び写真展等によるPRを通じた誘客促進 					
事業の 対象	何を	①「月と岐阜城」スマートフォン撮影ツアーのモニタリング実施 ②WEBサイトの更新による情報発信 ③写真展出展による情報発信				
	誰に	20～30代の観光客				
	どのくらい	①6回 ②4コンテンツ ③1回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	「月と岐阜城」スマートフォン撮影ツアーのモニタリング実施。					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,575	110	3,553	110	3,498	110
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,575	110	3,553	110	3,498	110

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		6,010	4,820	5,844
直接事業費の主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	5,973	4,800	5,665
		0	0	0
		0	0	0
減価償却費【施設管理】(C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		6,010	4,820	5,844

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	9,585	8,373	9,342

【4.収入】

収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	2,986	2,400	2,833
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	2,986	2,400	2,833

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	6,599	5,973	6,509

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	WEBサイト閲覧者	WEBサイト閲覧者	WEBサイト閲覧者
受益者数	9,160	17,238	14,351
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	720	347	454

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	WEBサイト更新回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1		2	2
実績値	1		2	2

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	ぎふ観光フォトコンテスト応募作品数((公財)岐阜観光コンベンション協会主催)			単位	点
	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
目標値	400		400		400
実績値	237		390		311
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)		

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	月と岐阜城を重ねて撮影する「月と岐阜城」の写真が、SNSや各種メディアから注目を集める等「フォトツーリズム」に対するニーズが増加しているため、魅力発信を行い誘客に繋げる必要がある。 本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信を通して本市への観光客誘致を目的としており、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	WEBサイトには、令和3年度以降年間1万回以上のページビューがあり費用対効果は高い。 観光関連事業者等と情報共有や意見交換を行いながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	写真撮影を通じた情報発信を行うことで、本市でしか体験できないコンテンツをビジュアル的に訴えることができるため、本市に対する誘客効果は高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	全ての方が受益対象者であり公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持：様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本事業は効率性、有効性、公平性が高いため、現状維持で継続していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 024

【1.基本情報】

事業名	大河ドラマを活用した戦国観光促進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	3	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」を通じて高めた本市の「戦国武将ゆかりのまち」としてのブランドイメージを継承しながら、2023年大河ドラマ「どうする家康」で再び岐阜市が取り上げられるであろうことを踏まえ、関連市町と連携を図り、本市の戦国ゆかりのコンテンツの魅力を発信し、観光誘客に繋げる。					
内容 (手段・手法など)	①大都市圏及び近郊で開催された戦国、武将などをテーマにした観光展に出展しPRを実施。 ②岐阜市歴史博物館で、NHK大河ドラマ「どうする家康」に登場する織田信長公の衣装や小道具などを展示するNHK大河ドラマ「どうする家康」展を開催。					
事業の 対象	何を	①観光展への出展 ②NHK大河ドラマ「どうする家康」展の開催				
	誰に	観光客及び市民				
	どのくらい	①4回 ②1回				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国、武将などをテーマにした観光展への出展 ・大河ドラマ「どうする家康」展の開催 					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0	0	1,938	60	3,816	120
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	0	0	1,938	60	3,816	120

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	3,135	6,157
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	0	3,135	3,333
	負担金	0	0	2,805
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		0	0	0
計(D)=B+C		0	3,135	6,157

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	5,073	9,973

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	1,500	1,488
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	1,500	1,488

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	0	3,573	8,485

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	0	参加者	来場者 (NHK大河ドラマ「どうする家康」展)
受益者数	0	30,895	17,913
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	0	116	474

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	戦国、武将などをテーマにした観光展への出展		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	-	4	
実績値	-	-	4	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	岐阜市観光HPアクセス数		単位	件
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	-	120,000	120,000	
実績値	-	368,229	538,151	
達成状況	—	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	大河ドラマ「麒麟がくる」の放送及び大河ドラマ館の設置を通じて高めた本市の「戦国武将ゆかりのまち」としてのブランドイメージを活用し、魅力発信を行い誘客に繋げる必要がある。 戦国観光を通して本市への観光客誘致を目的としており、市が担う必要がある。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	NHK大河ドラマ「どうする家康」展には17,913人の来場があり、費用対効果は高い。 県内他市町村等と情報共有や意見交換を行いながら進めている。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	戦国には多くのファンがおり、各種戦国関係のドラマ等で全国的な盛り上がりを見せることもあるため、本市の戦国観光のコンテンツアピールすることは、本市に対する誘客効果が高い。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	全ての方が受益対象者であり公平である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	本事業は効率性、有効性、公平性が高いため、現状維持で継続していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号	0660020	_ 025
----	---------	-------

【1.基本情報】

事業名	ロケツーリズム推進事業					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	直営	補助等の種類		実施主体	岐阜市	
開始・終了年度	令和	2	年度～	年度	根拠法令・関連計画	—

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	本市へのロケ誘致を積極的に進め、ロケツーリズム(映画、ドラマ、CM、アニメ等のロケ地を巡る観光の形態)による観光誘客につなげる。					
内容 (手段・手法など)	ロケの受け入れ態勢の構築、ロケの誘致、ロケ支援を実施。					
事業の 対象	何を	ロケ支援				
	誰に	映像制作会社				
	どのくらい	令和2年度:3件、令和3年度:31件、令和4年度:31件				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	7,150	220	13,082	405	13,229	416
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	7,150	220	13,082	405	13,229	416

(2)物にかかるコスト

		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)		550	550	1,573
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	負担金	545	545	613
	補助金	0	0	685
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】 (C)		0	0	0
計(D)=B+C		550	550	1,573

(3)総コスト

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	7,700	13,632	14,802

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	0	0	0
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	7,700	13,632	14,802

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数	岐阜市の主要観光地点入込客数
受益者数	4,280,808	3,736,881	5,926,099
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2	4	2

【7.指標】

アウトプット評価（資源投入(インプット)により産出した活動(サービス)

活動指標名	ロケツーリズム協議会でのロケ営業回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	1	2	2	
実績値	1	2	2	

アウトカム評価（アウトプットによりもたらされた成果）

成果指標名	ロケ支援回数		単位	回
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	10	30	30	
実績値	3	31	31	
達成状況	×(未達成)	○(達成)	○(達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との統廃合はできるか ※【1】【2】から	高	本事業は観光客を誘致するための手段であり、岐阜市の魅力を発掘・発信のために必要な事業である。 本市の新たな観光資源の発掘及び情報発信を通して本市への観光客誘致を図ることを目的としており、市が担う必要がある。 ロケ誘致及びロケ支援を包括的に行う事業は専門性が高く、また独自の業務であり、他事業との統廃合はできない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	ロケ誘致及びロケ支援を行うことで、映像制作者の情報発信に加わることができ、市独自の宣伝広告をすることなく、岐阜市のPRが行うことが可能となるため、費用対効果は高い。 ロケ誘致及びロケ支援を行う組織は、市の他にない。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	高	ロケを誘致することと合わせて、エキストラ募集やロケ候補地の募集など、ロケの受け入れ体制の強化を図っており、令和4年度は、本市のロケ受け入れは31件となった。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	高	全ての方が受益者であり公平である。 また情報発信を受けての本市への旅行は、受益者負担となるため適正である。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	評価項目は全て「高」のため、現状維持で継続していく必要がある。

事業評価シート(令和4年度事業評価用)

番号 0660020 _ 026

【1.基本情報】

事業名	道の駅柳津交流センター運営管理					
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部		担当課名	観光コンベンション課		
実施方法	委託(民間)	補助等の種類		実施主体	株式会社チューキョーP&G	
開始・終了年度	平成	16	年度～	年度	根拠法令・関連計画	岐阜市道の駅柳津交流センター条例

【2.事業概要】

目的 (何のためか)	一般道の利用者等に対し、良好な休憩の場を提供するとともに、地場製品の販売等を通して商業をはじめとする産業の活性化を図るため、施設を供与する。					
内容 (手段・手法など)	道の駅柳津交流センターの運営(利用受付、物販館等の貸出、利用料金の徴収など)、施設内外の保全、施設および設備等の保守管理。					
事業の 対象	何を	道の駅柳津交流センターの施設等				
	誰に	施設利用者				
	どのくらい	65,000人				
令和4年度からの変更点 (継続事業の場合)	—					

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	令和2年度決算額		令和3年度決算額		令和4年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	975	30	969	30	954	30
パートタイム会計年度任用職員A	0	0	0	0	0	0
パートタイム会計年度任用職員B	0	0	0	0	0	0
計(A)	975	30	969	30	954	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		12,892	11,818	12,950
直接事業費の 主な内訳		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
項目	委託料	12,748	11,738	12,458
	工事費	0	0	125
	負担金	144	80	80
減価償却費 【施設管理】 (C)		令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
		3,484	3,484	3,484
計(D)=B+C		16,376	15,302	16,434

(3)総コスト

総事業費(E)=A+D	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	17,351	16,271	17,388

【4.収入】

	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	0	0	0
その他	1	1	1
計(F)	1	1	1

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	令和2年度決算額(千円)	令和3年度決算額(千円)	令和4年度決算額(千円)
	17,350	16,270	17,387

【6.コストバランス】

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業受益者	施設利用者	施設利用者	施設利用者
受益者数	51,923	32,912	54,081
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	334	494	321

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))

活動指標名	開館日数		単位	日
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	310	310	310	
実績値	270	199	335	

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)

成果指標名	来場者数		単位	人
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
目標値	65,000	65,000	65,000	
実績値	51,923	32,912	54,081	
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)	

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 ①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県) ③類似の事業はないか、あれば当該事業との 統廃合はできるか ※【1】【2】から	中	主要道路の休息地点や地域住民の交流の場となっている他、地元農産物の販路を確保することで、地域産業の活性化に寄与している。 利用料金制の指定管理者制度のもと、民間による運営管理を実施済みである。 類似事業はない。
効率性 ①費用対効果 ②他に効率的な方法はないか (広域・民間活用・市民協働など) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が多少残っていたが、指定管理者提案により、下半期から月曜休業日の廃止や、利用時間の変更を行い、効果的かつ効率的な施設運営を行った。 利用料金制の指定管理者制度の導入により、民間ノウハウの活用を実施済みであり、経費を削減している。
有効性 ・期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か ※【2】【7】から	中	指定管理者提案により、下半期から月曜休業日の廃止や、利用時間の変更を行った結果、利用者数が増加した。
公平性 ・受益者及び受益者負担は適正か ※【2】【6】【7】から	中	物販館、農産物を販売するスペースは公に開かれており、施設利用に係る制限は少なく、平等に利用できる。
〔総合評価〕 ・拡充：目標を達成しており、良い状態が続いているため、より良くしていく ・現状維持： 様々な要因により、事業担当課の裁量で拡充又は改善することが困難であり、現状のまま事業を継続していく ・改善：目標を達成できておらず、事業の統合や縮小、実施内容の変更など、見直しを図る ・廃止：実施予定期間満了などの理由により、事業を取りやめる	現状維持	道の駅の本来としての役割のほか、地域農産物販売等で地域産業の活性化に寄与している。